十人十色（じゅうにんといろ）

串間市内のこども食堂のご案内です

問／福祉事務所こども家庭センター子育て支援係☎72-1123

【こども食堂】

子どもも、大人も、みんな集まって一緒に、勉強したり、遊んだり、休憩したりしませんか？

先着順ですが、どなたでも参加できます。参加料は無料です。

開催日時は串間市公式サイト・LINE（ライン）などをご覧ください‼

【串間市内のこども食堂】

こども食堂名	開催時期	主な開催場所
串間コミュニティ食堂	第２水曜日 第４水曜日	串間市農村環境改善センター 道の駅くしま市民交流施設 社会福祉法人龍口会幸せホームあすか
社協キッチン	第３木曜日	道の駅くしま市民交流施設

※日時、場所は変更になることがあります。串間市公式サイト・LINEをご覧ください。

食でつなぐ共生社会 食の環 SHOKU NO WA

子育てINFO　『子ども予防接種』

【定期接種】

●麻しん風しん（MR）ワクチン

・第１期：１歳から２歳までの子ども

・第２期：５歳から７歳未満で、小学校就学前の子ども

なるべく早めに接種することが大事です。

今年度は国の特例により、ワクチン未接種の２歳から３歳までの子ども、現在小学校１年生の子どもも接種することができます。

●混合ワクチン

・第１期：生後２カ月から７歳半までの間にある子ども（追加を合わせて計４回）

混合ワクチンは５種混合ワクチン（ジフテリア、百日せき、破傷風、急性灰白髄炎、Hib感染症）が主流となっています。予防接種を確実に行い、基礎免疫をつくっておくことが大切です。

●子宮頸がん予防（HPV）ワクチン

【定期接種対象者】

小学校６年生～高校１年生

平成20年４月２日生から平成25年４月１日生までの女子

【キャッチアップ対象者】

平成９年４月２日生から平成20年４月１日生までの女子

【任意予防接種】

●おたふくかぜ

・第１期：生後12カ月から生後24カ月までの間にある子ども

・第２期：５歳以上７歳未満の年長児にある子ども

※上記期間中は2,500円/回助成

注目

感染症から身を守るには、予防接種と同じくらい、うがい、手洗い、消毒が大切です！

冬は感染症が増える時期でもありますので、積極的な予防接種と確実なうがい、手洗い、消毒を心がけましょう！

ハッピースマイル

宮川（みやがわ） 結羽（ゆう）ちゃん

（令和７年７月1日生）

宮川（みやがわ） 涼太（りょうた）さん・紗也佳（さやか）さんの長女

（福島地区）

よく笑って手足を元気に動かし、もうすぐ寝返りをしそうなゆうちゃん。歌が好きで童謡を歌うととても喜んでくれるね。元気で優しい子に育ってほしいです。大きくなったらみんなでお買い物や旅行に行ったり、野球のキャンプを見に行ったりしようね。

くしまっ子

期待を胸に。選抜の舞台に、挑戦‼

鶴田（つるた） 康心（こうしん）さん

高い金属音が耳に響いてくる方向に足を運ぶと、そこは福島高校野球部のグラウンド。現在、福島高校野球部は同校3名、飯野高校6名、高城高校3名の計12名で連合チームを組み、日々練習に励んでいます。

同部、主将でショートを務めるのは2年生の鶴田康心（つるたこうしん）さん。2人の幼なじみに影響を受け小学3年生から野球の門を叩いた鶴田さんは、10月中旬に都城高城球場で行われた「宮崎県高等学校野球連盟ピックアップ（県選抜）チーム」のセレクションに参加。厳しい選考を突破し見事、県選抜メンバー25名の1人に選ばれました。

「選ばれて驚きました。自分は守備が持ち味と思っていてセレクションの時もアピールすることができたので選ばれて嬉しい。」と鶴田さん。県選抜では守備の要となるショートとサードを務めます。

鶴田さんの強みを聞くと、「ランニングスロー（打者が打った地面を転がったりバウンドしたりするボールを、走った勢いを利用しながらキャッチしすぐに送球する技術）です。そして今、特に力を入れて練習しているのがバッティングです。」と話します。

インタビューをする中で鶴田さんは「目標にしているのは松尾優作（ゆうさく）コーチ（同校コーチ）。野球に対しての意識や人との関わり方を見て、目標にしています。そして、謙虚な野球をしていきたいです。」と目を輝かせながら教えてくれました。

試合前、自分のポジションに入る前は必ず脱帽し一礼。そして審判へのあいさつを欠かさない鶴田さん。

11月16日に行われる福岡工業大学との練習試合や、11月22日からの沖縄遠征に向けての意気込みを聞くと、「チームを救う守備をしていきたいです。そして、選抜の短い期間で学んだことを部員みんなに還元したいです。先生方も期待してくださっているので結果で返していきたい。」と意気込みます。

高校野球指導歴21年で同部顧問の星原貴浩（たかひろ）先生は、走攻守バランスのとれたセンスが光る選手。学校生活では、何事にも真面目で熱心に取り組める生徒。クラスメイトからの信頼も厚く、将来の目標である「救急救命士」になるために、野球と勉強を両立している模範的な生徒、と話します。

鶴田さんが選出された際は、「目標を達成してくれたことが嬉しい。今後、大学生や沖縄選抜と試合をすることで、自分自身の野球感をさらに高めてもらいたい。そして、その経験を活かし連合チーム全体の成長に繋げてほしい。」と明るくも少し照れた表情で話してくれました。

【取材日：11月13日】